

平成30年度次世代リーダー養成ゼミナール実施要項

1. 目 的

将来、所属大学でのトップリーダーや高等教育界のリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成する。

2. 到達目標

【知識】大学等の経営に必要となる以下のことができる。

- ・高等教育に関する理論・知識を応用することができる。
- ・経営管理・戦略、財政管理・戦略、危機管理に関する理論・知識を応用することができる。
- ・リーダーシップに関する理論・知識を応用することができる。

【技能】上記の知識を利用して、大学等の大局的な運営に必要となる以下のことができる。

- ・情報収集・分析を行うことができる。
- ・企画策定・提案を行うことができる。
- ・判断を行うことができる。
- ・折衝・調整を行うことができる。
- ・後継者育成を行うことができる。

【態度】

- ・リーダーとしてふさわしい行動をとることができる。
- ・立場の違う構成員と協力して働くことができる。
- ・地域や高等教育界のニーズに応えることができる。

※本ゼミナールの詳細については、別紙1「次世代リーダー養成ゼミナール概要」及び別紙2「次世代リーダー養成ゼミナール科目一覧」をご参照ください。

3. 開催日

(第1回)	平成30年	5月30日(水)～	6月1日(金)	(愛媛大学)
(第2回)	平成30年	7月19日(木)～	7月20日(金)	(高知大学)
(第3回)	平成30年	10月31日(水)～	11月2日(金)	(愛媛大学)
(第4回)	平成31年	1月24日(木)～	1月25日(金)	(徳島大学)
(第5回)	平成31年	5月29日(水)～	5月31日(金)	(場所未定)
(第6回)	平成31年	7月18日(木)～	7月19日(金)	(場所未定)
(第7回)	平成31年	10月30日(水)～	11月1日(金)	(場所未定)
(第8回)	平成32年	1月23日(木)～	1月24日(金)	(場所未定)

※本ゼミナールのプログラムは、2年間で8回(2泊3日×4回, 1泊2日×4回の予定)実施する。

※本ゼミナールのプレプログラムとして「スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ」を平成30年5月18日(金)に愛媛大学にて実施予定。詳細は後日お知らせします。

4. 場 所

(第1回) 愛媛大学城北キャンパス 愛大ミュージズ3階(愛媛県松山市文京町3)

5. 対象者

以下の条件を満たす者。

- ・SPOD加盟校職員で、原則40歳以下の者。
- ・各機関の長が推薦する者。

ただし、定員に達しない場合に限り、以下の者の受入れを可とする。

- ・SPOD加盟校以外の職員。
- ・各機関の長以外からの推薦による者。
- ・スタッフ・ポートフォリオを作成し、受講申し込み時に提出できる者。
※別紙3「スタッフ・ポートフォリオ記入例」をご参照ください。
- ・受講にあたっての抱負が明確であり、受講申込時に文書（2,000字程度）で提出できる者。
- ・SPOD研修プログラムのレベルⅡ程度を修了した者、または、それと同等の能力があると認められた者。
※各機関においては受講者を選抜する段階で、面接等を実施してください。
※2年間で修了要件である全日程の9割以上出席可能な者を推薦してください。
※SPOD加盟校の職員は、修了後にSPODのSD講師として御協力願います。

6. 募集人員

12名

- ・各機関より複数受講を希望する場合は、優先順位を付す。
- ・SPOD加盟校外の職員の推薦は、1機関あたり2名までとする。

7. 研修料

SPOD加盟校の職員は無料。SPOD加盟校外の職員は別に定める研修料が必要になります。

8. 講師（予定）

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	副室長・教授	中井 俊樹
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	講師	清水 栄子
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	講師	仲道 雅輝
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	特任助教	上畠 洋佑
愛媛大学教育・学生支援機構学生支援センター	講師	阿部 光伸
愛媛大学教育・学生支援機構学生支援センター	講師	丸山 智子
愛媛大学教育学生支援部愛媛大学SD統括コーディネーター・能力開発室長		吉田 一恵
桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科	教授	山本 眞一
岡山理科大学	副学長・教授	秦 敬治
名古屋大学高等教育研究センター	准教授	中島 英博
福岡大学教育開発支援機構	講師	橋場 論
京都大学国際戦略本部	担当部長	山本 淳司
中京大学学術情報システム部情報システム課	係長	大津 正知 他

9. 修了要件

- ・原則として全日程の9割以上出席すること。
- ・全ての課題（レポート、プレゼンテーション、ディスカッション、実践等）を完遂し、合格すること。
- ・最終口頭試問で合格すること。
- ・全てのプログラムについてA～Dの4段階で評価し、総合判定A～Cの評価を得ること。

10. 主 催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

次世代リーダー養成ゼミナール受講に係る研修料について

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（以下「SPOD」という。）は、四国地区にある34の加盟校からの会費によって運営されているため、SPOD加盟校以外の職員が次世代リーダー養成ゼミナールを受講する場合には、下記のとおり研修料を徴収させていただきます。

記

1. 単年度あたりの研修料

平成30年度

18,000円（2泊3日のプログラム）×2回＝36,000円

12,000円（1泊2日のプログラム）×2回＝24,000円

合計 60,000円

平成31年度（予定）

18,000円（2泊3日のプログラム）×2回＝36,000円

12,000円（1泊2日のプログラム）×2回＝24,000円

合計 60,000円

※受講生が2年間でプログラムを修了しなかった場合の3年目以降の研修料については、徴収いたしません。

2. 研修料の支払い方法

受講する年度毎に、1年分の研修料を5月末日（予定）までに前納していただきます。

なお、納入方法等の詳細については、本ゼミナールの受講決定時にお知らせします。

【研修料に関するお問い合わせ先】

SPOD事務局（愛媛大学教育学生支援部教育企画課）

TEL：089-927-9154

E-mail：spod@stu.ehime-u.ac.jp

平成30年度次世代リーダー養成ゼミナール（第1回）日程表

日程：5月30日（水）～6月1日（金）

場所：愛媛大学愛大ミュージアム

時間	(1日目) 5 / 3 0 (水)		(2日目) 5 / 3 1 (木)		(3日目) 6 / 1 (金)		時間
	8 期 生	9 期 生	8 期 生	9 期 生	8 期 生	9 期 生	
9:00					インストラクション・スキル I (プレゼンスキル) 自大学プレゼン発表		9:00
					メンタリング実践 I (8 期 生 が 9 期 生 へ メンタリング)		11:00
12:00			昼食		昼食		12:00
12:30							開講式
13:00	次世代リーダー養成ゼミナール 受講にあたって (9 期 生 より 決 意 表 明)				大学職員論		13:00
13:30	SD 実践 I (プログラム構築)	リーダ ーシ ップ 論 I					SD 実践 I (プログラム構築)
14:30	SD 実践 II (マイクロ ティーチング)		インストラク ション ・ス キ ル I (プレゼ ン ス キ ル)			研究 方 法 論 V (レポ ー ト の 書 き 方)	イン ス ト ラ ク シ ョ ン ・ ス キ ル II (プロ グ ラ ム 設 計 法)
15:00		SD 実践 II (マイクロ ティーチング)					
15:30	SD 実践 II (マイクロ ティーチング)	インストラク ション ・ス キ ル I (プレゼ ン ス キ ル)			研究 方 法 論 V (レポ ー ト の 書 き 方)	イン ス ト ラ ク シ ョ ン ・ ス キ ル II (プロ グ ラ ム 設 計 法)	16:00
16:00							
17:00	研究 方 法 論 IV (デー タ 分 析 基 礎)	研究 方 法 論 I (課 題 発 見 と 解 決)	プロジェクト実践 II (8 期 生 による進捗状況発表)		研究 方 法 論 V (レポ ー ト の 書 き 方)	イン ス ト ラ ク シ ョ ン ・ ス キ ル II (プロ グ ラ ム 設 計 法)	17:30
17:30							
18:00			プロジェクト実践 IV (ゼミ指導)				
18:30							
19:00	情報交換会						

※都合により、時間を変更する場合があります。

※色付き箇所の講義については、次世代リーダー養成ゼミナール受講生以外にも開放いたします。

次世代リーダー養成ゼミナール概要【9期生】

本ゼミナールは、「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」を3つの柱とし、2年間で8回、段階的・体系的・継続的に実施する。

<目 的> 将来、所属大学でのトップリーダーや高等教育界のリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成する。

	概 要	1回（5月）	2回（7月）	3回（10月）	4回（1月）	5回（5月）	6回（7月）	8月末 ～9月	7回（10月）	8回（1月）
講 義	「基礎科目」「高等教育」「経営戦略」「人材育成」に関する分野の受講を通じて、自大学等の政策立案・運営に応用する理論・知識を学びます。	【基礎科目】 研究方法論Ⅰ（課題発見と解決） 研究方法論Ⅱ（文献検索・調査法） 研究方法論Ⅲ（調査票の作成） 研究方法論Ⅳ（データ分析基礎） 研究方法論Ⅴ（レポートの書き方）		【高等教育分野】 高等教育政策論 高等教育史 高等教育論 教育関係法規 学生支援論		【経営戦略分野】 経営管理・戦略論 大学のガバナンスとマネジメント 高等教育におけるIR 危機管理実践		【人材育成分野】 SD論 リーダーシップ論Ⅰ リーダーシップ論Ⅱ 大学職員論 メンター入門		
プ ロ ジ エ ク ト	自身の関心に基づいて課題を設定し、所属大学内の課題解決のためのプロジェクトを企画・運営し、その実践の中で得られた知見をアクションリサーチの形でレポートとしてまとめます。	プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）	プロジェクト実践Ⅰ（課題設定） プロジェクト・マネジメント	プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導） ※プロジェクト実践Ⅰ（課題設定）	プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）	プロジェクト実践Ⅱ（進捗） プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）	プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）	プロジェクト終了（9月末）	プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）	プロジェクト実践Ⅲ（修了） プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）
S D 実 践 ・ 演 習	次世代を担うリーダーとして、立場の異なる構成員と協働する力、地域や高等教育界のニーズに応えられる力などを実践と演習を通じて身につけるとともに、他者を育成する力を修得します。	インプレゼンテーション・スキルⅡ （プロジェクトデザイン） ※メンタリング実践Ⅰ		メンタリング実践Ⅱ ※メンタリング実践Ⅰ	SD実践Ⅰ（プログラム構築）	SD実践Ⅰ（プログラム構築） ※SD実践Ⅰ（プログラム構築） ※マイクロティーチャング ※メンタリング実践Ⅰ	SD実践Ⅱ（模擬授業） SD実践Ⅰ（プログラム構築）		SD実践Ⅲ（プログラム振り返り） SD実践Ⅱ（プログラム実践） ※メンタリング実践Ⅱ	インストラクション・スキルⅡ （シラバス作成） ※ブラッッシュアップ
課 題	■受講申込時提出物 ・スタッフ・ポートフォリオ（SP） ・受講にあたっての抱負	■第1回までの課題 ・SPワークショップ参加 ・受講にあたっての抱負発表準備 ・自大学プレゼン発表準備 ※課題の詳細は、受講決定後にお知らせいたします。	■第2回までの課題 ・講義レポート ・プロジェクト題材3つ考えプレゼン準備 ・SP更新	■第3回までの課題 ・講義レポート ・プロジェクトの決定・憲章作成 ・プロジェクト発表準備 ・大学改革13項目レポート	■第4回までの課題 ・講義レポート ・研修プログラム検討 ・SP更新	■第5回までの課題 ・講義レポート ・プロジェクト進捗報告作成 ・プロジェクト進捗発表準備 ・研修プログラム検討	■第6回までの課題 ・講義レポート ・プロジェクト進捗報告作成 ・研修プログラム準備		■第7回までの課題 ・講義レポート ・研修プログラム実践準備 ・プロジェクト実践レポート作成	■第8回までの課題 ・講義レポート ・プロジェクト実践レポート作成 ・修了プレゼン準備 ・講師ができるシラバス提出 ■修了後提出物 ・シラバス（更新） ・プロジェクト実践レポート（最終） ・SP（更新）

次世代リーダー養成ゼミナール科目一覧

目 的	将来、所属大学でのトップリーダーや高等教育界のリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成する。
到達目標	(知識) 1. 高等教育に関する理論・知識を応用することができる 2. 経営管理・戦略、財政管理・戦略、危機管理に関する理論・知識を応用することができる 3. リーダーシップに関する理論・知識を応用することができる (技能) 4. 情報収集・分析を行うことができる 5. 企画策定・提案を行うことができる 6. 判断を行うことができる 7. 折衝・調整を行うことができる 8. 後継者育成を行うことができる (態度) 9. リーダーとしてふさわしい行動をとることができる 10. 立場の違う構成員と協力して働くことができる 11. 地域や高等教育界のニーズに応えることができる

科目名			開講年			研修の目的	授業の到達目標
			1年目	2年目	隔年		
講義	基礎科目	研究方法論Ⅰ (課題発見と解決)	○			プロジェクトを選択する上で、必要とされる課題発見の方法およびその解決方法についての基本を理解する。	1. 課題発見のためのスキルを説明することができる 2. 課題解決の手法を理解することができる 3. 課題解決型プロジェクトのテーマ策定に活用することができる
		研究方法論Ⅱ (文献検索・調査法)	○			プロジェクトの実践や修了レポートをまとめる際に参考となる文献などの検索方法について理解する。	1. 文献検索の方法を説明することができる 2. 必要な文献を検索し、入手することができる 3. 他の図書館から資料を借り入れる方法を説明することができる
		研究方法論Ⅲ (調査票の作成)	○			アンケート調査とはどのような調査であるのかを理解し、その作成方法を学ぶ。	1. アンケート調査とは何かを自分のことばで説明することができる 2. アンケート調査の作成方法を説明することができる 3. アンケート調査票を作成することができる
		研究方法論Ⅳ (データ分析基礎)		○		プロジェクトや日常業務で活用できるデータ分析の基本的な内容を学ぶ。	1. データの種類を説明することができる 2. データ分析の方法を説明することができる 3. グラフの種類と特徴を説明することができる
		研究方法論Ⅴ (レポートの書き方)		○		レポートの構成の立て方、引用方法などのレポートを書く際の基本的な事項を理解する。	1. レポートの基本とは何かを説明することができる 2. 割罫について説明することができる 3. 構成の立て方を説明することができる
	高等教育分野	高等教育政策論	○			大学を取り巻く様々な政策を理解し、大学改革において必要とされるマネジメント力を発揮できるようになるための基礎を養う。	1. 1990年代以降の大学改革について説明することができる 2. 我が国の大学の特徴を説明することができる 3. 大学を巡る諸環境の変化を説明することができる
		高等教育史			○	日本の高等教育の歴史とポイントを理解し、現在の様々な大学の改革や取組への繋がりを理解する。	1. 高等教育機関の現状を説明することができる 2. 日本の大学改革の歴史の概要を説明することができる
		高等教育論	○			制度・組織を中心とした高等教育に関わる基本的な内容を取り上げる。	1. 高等教育に関する基本的な理論や枠組みを説明することができる 2. 大学教育に関する基本的な理論や枠組みを説明することができる 3. 所属機関における課題を理論や枠組みに照らし合わせて説明することができる
		教育関係法規			○	我が国の学校教育関係法規(主に憲法、教育基本法、学校教育法、大学設置基準等)の基本的事項について、理解するとともに、高等教育政策の動向について正しく理解し、課題解決のための方策を提案できる。	1. 我が国の学校教育関係法規の制度概要、論点等が説明することができる 2. 業務に必要な高等教育制度の変遷や法令について説明することができる 3. 高等教育政策の動向について説明することができる 4. 現在の大学行政上の課題を基に方策を具体的に提案することができる
		学生支援論			○	学生支援の歴史的変遷の概略を学ぶとともに、現代の高等教育において必要とされる学生支援の現状と課題を考える。	1. 学生支援の現状について説明することができる 2. 学生支援の問題点について指摘することができる 3. 所属大学での学生支援の在り方について自分の考えを述べるすることができる
	経営戦略分野	経営管理・戦略論			○	高等教育経営に関する様々な分野を取り上げ、経営管理や組織のあり方、経営戦略などについて専門的に学ぶ。学習にあたっては、理論だけでなく、ケーススタディなどの手法も取り入れ、実践的側面についても理解を深めていく。	1. 経営戦略について説明することができる 2. 高等教育経営を効果的に実践するためのマネジメント手法を説明することができる 3. 高等教育経営に関する様々な分野の情報を収集・分析し、経営戦略の策定ができる
		大学のガバナンスとマネジメント			○	ガバナンスとマネジメントの違いを理解し、戦略遂行のために自らに与えられた課題を解決する能力を養う。	1. ガバナンスとマネジメントについて説明することができる 2. 大学のガバナンスとマネジメントについて説明することができる 3. 大学改革におけるガバナンスとマネジメントの役割について説明することができる
		高等教育におけるIR	○			高等教育における計画立案、政策形成、意思決定を支援するために、データに基づく持続的な改善・意思決定(IR)を効果的・効率的に行うための問題解決方法を養う。	1. 高等教育質保証について説明することができる 2. Institutional Research(IR)について説明することができる 3. 諸外国におけるIRの展開について述べることができる 4. 日本におけるIRの展開について述べるすることができる 5. 課題を洗い出し、課題解決に取り組むことができる
		危機管理実践			○	大学職員に求められる権利・義務を理解した上で、事件・事故等の対処方法・予防策の構築方法を学ぶ。	1. 大学等における危機管理とは何かについて説明することができる 2. 事件・事故等に自ら判断を行い、対処することができる 3. 事件・事故等の予防策を構築することができる
	人材育成分野	SD論			○	リーダーに必要な資質の一つとして、職場(現場)を理解することができる。SD論を通して、職場(現場)の業務分析について理解する。	1. 大学における業務の意義・位置づけについて述べることができる 2. 職場における業務について情報を収集し、業務内容を明確化することができる 3. 職場における必要な能力の分析をすることができる
		リーダーシップ論Ⅰ	○			自分のリーダーシップ・スタイルを分析し、部下を成長させながら組織が成果を上げるための方策について学ぶ。	1. リーダーシップの定義から、期待されている役割を説明することができる 2. リーダーのメンバーへの影響力について説明することができる 3. リーダーとして持つべき意識／取るべき行動を説明することができる
		リーダーシップ論Ⅱ		○		リーダーとフォロワーが互いに良い影響を与え合い、その相乗効果によってチーム力が高まることを学ぶ。	1. リーダーとフォロワーの両者の立場を理解し、お互いの役割を説明することができる 2. 目標を達成できるチーム作りの方法を説明することができる
		大学職員論			○	「事務職員」から「大学職員」への発展の背景を振り返り、そのプロフェッショナル性について考える。	1. これからの大学職員に求められる能力を説明することができる 2. 業務改革の進め方について説明することができる
		メンター入門	○			メンターとなる職員(上司)が、メンタリングの必要性について理解する。	1. メンタリングについて説明することができる 2. メンターの役割を説明することができる 3. スタッフ・ボートフォリオ作成時のメンターの関わり方を説明することができる
		人材育成ビジョン			○	高等教育機関における職員人材育成ビジョンの構築事例を知るとともに、その作成を支援するための手法を学ぶ。	1. 職員人材育成ビジョンについて説明することができる 2. 職員人材育成ビジョンの必要性を説明することができる 3. 職員人材育成ビジョンの作成を支援することができる

次世代リーダー養成ゼミナール科目一覧

目 的	将来、所属大学でのトップリーダーや高等教育界のリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成する。
到達目標	(知識) 1. 高等教育に関する理論・知識を応用することができる 2. 経営管理・戦略、財政管理・戦略、危機管理に関する理論・知識を応用することができる 3. リーダーシップに関する理論・知識を応用することができる (技能) 4. 情報収集・分析を行うことができる 5. 企画策定・提案を行うことができる 6. 判断を行うことができる 7. 折衝・調整を行うことができる 8. 後継者育成を行うことができる (態度) 9. リーダーとしてふさわしい行動をとることができる 10. 立場の違う構成員と協力して働くことができる 11. 地域や高等教育界のニーズに応えることができる

科目名		開講年			研修の目的	授業の到達目標
		1年目	2年目	隔年		
プロジェクト	プロジェクト・マネジメント	○			プロジェクトマネジメントの手法を理解し、プロジェクトを成功に導くツールとして活用することを目指す。	1. プロジェクト、プロジェクトマネジメントの特性について説明することができる 2. プロジェクトを成功に導くためのプロセスと、実践のための手法を説明することができる
	プロジェクト実践Ⅰ (課題設定プレゼンテーション)	○	○		プロジェクトの企画立案、進捗管理、リスク管理などを含めてプロジェクトの課題設定につなげる。	1. プロジェクトの課題設定について、他者に説明することができる 2. 他者のプレゼンテーションに対しフィードバックを行うことができる
	プロジェクト実践Ⅱ (進捗プレゼンテーション)	○	○		プロジェクトの進捗状況を発表することにより、振り返りを行うとともに、進捗を妨げている課題(各種トラブル)の解決策を見出せるようになる。	1. プロジェクトの計画と現状の差異を説明することができる 2. 他者のプレゼンテーションに対しフィードバックを行うことができる 3. 他者からのフィードバックを精査し、問題解決の方策を策定することができる
	プロジェクト実践Ⅲ (修了プレゼンテーション)	○	○		プロジェクトの成果と課題の考察結果を説明する。	1. プロジェクトの企画・管理の手法を説明することができる 2. プロジェクトの意義や重要性について、説明することができる 3. プロジェクトの内容についての質疑応答をすることができる
	プロジェクト実践Ⅳ (ゼミ指導)	○	○		プロジェクト実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの中で行われたフィードバックを省察すると共にプロジェクト遂行を通じて、課題発見能力、課題解決能力、構想力、表現力を養う。	1. 自大学の構成員を巻き込んだプロジェクトを遂行することができる 2. プロジェクトを実施し、レポートにまとめることができる
SD実践・演習	インストラクション・スキルⅠ (プレゼンテーションスキル)	○	○		プレゼンテーション、研修講師等に必要な知識・技能・態度について学ぶ。	1. 与えられた制約の中で、意図・主旨・要点を明確に伝えることができる 2. 他者のプレゼンテーションを観察しフィードバックを行うことができる
	インストラクション・スキルⅡ (プログラム設計／シラバス作成)	○	○		SDプログラムにおける、シラバスの定義、プログラム概要、到達目標の設定、研修内容等について理解する。	1. シラバスの定義を説明することができる 2. 到達目標を設定することができる 3. 効果的な学習を促すシラバスをデザインすることができる 4. プログラム概要を作成することができる
	SD実践Ⅰ (プログラム構築)	○	○		担当するプログラムにおける、プログラム概要、到達目標の設定、研修内容等について理解する。	1. SP0D-SD講師となることができる 2. 受講対象者のニーズを調査することができる 3. プログラムのシラバスについて、同期生と協働して作成することができる
	SD実践Ⅱ (プログラム実践)	○	○		担当するプログラムの事前講義を行い、課題の解決策を見いだせるようになる。	1. プログラムの問題点を指摘することができる 2. プログラムを改善するためのフィードバックができる
	SD実践Ⅲ (プログラム振り返り)	○	○		振り返りを通じ、次期生に対し適切な助言を行う。	1. 次期生に対し、適切な助言を行うことができる
	メンタリング実践Ⅰ	○	○		スタッフ・ポートフォリオ作成に資するメンタリングを実践する。	1. スタッフ・ポートフォリオ作成時のメンターの関わり方を説明できる 2. スタッフ・ポートフォリオに記された内容についてメンタリングを行うことができる 3. スタッフ・ポートフォリオ作成の援助をすることができる
	メンタリング実践Ⅱ	○	○		メンタリング実践Ⅰで作成したスタッフ・ポートフォリオのブラッシュアップに向けたメンタリングを実践する。	1. スタッフ・ポートフォリオ作成時のメンターの関わり方を説明できる 2. スタッフ・ポートフォリオに記された内容についてメンタリングを行うことができる 3. スタッフ・ポートフォリオ作成の援助をすることができる

目 的

将来、所属大学でのトップリーダーや高等教育界のリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成する。

到達目標

【知識】

- ・高等教育に関する理論・知識を応用することができる。
- ・経営管理・戦略、財政管理・戦略、危機管理に関する理論・知識を応用することができる。
- ・リーダーシップに関する理論・知識を応用することができる。

【技能】

- ・情報収集・分析を行うことができる。
- ・企画策定・提案を行うことができる。
- ・判断を行うことができる。
- ・折衝・調整を行うことができる。
- ・後継者育成を行うことができる。

【態度】

- ・リーダーとしてふさわしい行動をとることができる。
- ・立場の違う構成員と協力して働くことができる。
- ・地域や高等教育界のニーズに応えることができる。

カリキュラム

講 義	【基礎科目】 研究方法論Ⅰ（課題発見と解決） 研究方法論Ⅱ（文献検索・調査法） 研究方法論Ⅲ（調査票の作成） 研究方法論Ⅳ（データ分析基礎） 研究方法論Ⅴ（レポートの書き方）		【高等教育分野】 高等教育政策論 高等教育史 高等教育論 教育関係法規 学生支援論	
	【経営戦略分野】 経営管理・戦略論 大学のガバナンスとマネジメント 高等教育におけるIR 危機管理実践		【人材育成分野】 SD論 リーダーシップ論Ⅰ リーダーシップ論Ⅱ 大学職員論 メンター入門 人材育成ビジョン	
プ ロ ジ ェ ク ト	プロジェクト・マネジメント プロジェクト実践Ⅰ （課題設定プレゼンテーション） プロジェクト実践Ⅱ （進捗プレゼンテーション） プロジェクト実践Ⅲ （修了プレゼンテーション） プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）	SD 実 践 ・ 演 習	インストラクション・スキルⅠ （プレゼンテーションスキル） インストラクション・スキルⅡ （プログラム設計／シラバス作成） SD実践Ⅰ（プログラム構築） SD実践Ⅱ（プログラム実践） SD実践Ⅲ（プログラム振り返り） SD実践Ⅳ（プログラム振り返り） メンタリング実践Ⅰ・Ⅱ	

■受講生・修了生所属機関

徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、
徳島文理大学、四国大学、聖カトリナ大学、松山大学、
高知工科大学、弓削商船高等専門学校

■修了生の声

これまでに50名以上が修了しました。

あつという間の2年間でした。第1回ゼミ終了後は疲労困憊になり帰路に着いたことも今となっては良い思い出です。社会人になって十数年。ここまで濃密な時間を過ごしたことはなかったし、これからきつくないと思います。この2年間はこれからの大学人としてだけでなく、社会人としても重要なことをたくさん学びました。

この2年間ではたくさんのことを学び、そして実践しました。振り返ると、実践したこと多くの多くは失敗だらけでしたが、失敗しなければ学べなかったことも数多くあったのではないかと感じています。私たちがゼミで学んだ知識・技能・態度は、図らずもこれらの経験によって裏打ちされることとなりました。失敗を寛大に受け入れ、ご指導いただいた次世代ゼミの関係者のみなさまには大変感謝しています。今後はこの貴重な経験を糧にして、次のステップに進んでいきたいと思っています。

■学内講師

※スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター（SDC）資格取得者

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	教 授	中井 俊樹※
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	講 師	清水 栄子※
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	講 師	仲道 雅輝※
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	特任助教	上畠 洋佑
愛媛大学教育・学生支援機構学生支援センター	講 師	阿部 光伸※
愛媛大学教育・学生支援機構学生支援センター	講 師	丸山 智子※

愛媛大学SD統括コーディネーター、能力開発室長

吉田 一恵※

■学外講師

桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科	教 授	山本 眞一
岡山理科大学	副学長	秦 敬治※
名古屋大学高等教育研究センター	准教授	中島 英博
福岡大学教育開発支援機構	講 師	橋場 論
京都大学国際戦略本部	担当部長	山本 淳司
中京大学学術情報システム部情報システム課	係 長	大津 正知

他

■お問い合わせ

SPOD事務局（愛媛大学教育学生支援部教育企画課）
TEL：089-927-9154 E-mail：spod@stu.ehime-u.ac.jp

—平成30年4月作成—



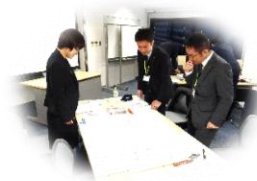
四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

SPOD = Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education



次世代リーダー養成ゼミナール

～ since 2010 ～



もっと学んでみませんか？

次世代リーダー養成ゼミナールとは

次世代リーダー養成ゼミナールは、次世代のトップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な「知識」「技能」「態度」を段階的に学び、修得する120 時間を超える総合研修プログラムあり、参加者が主体的・自主的に学ぶ姿勢が求められます。

【特 徴】

- 2年間で8回実施（1泊2日×4回，2泊3日×4回）
- プログラムは「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱で構成
- 受講生による発表や討論を行う時間を十分に設定

ゼミナールでは、講義を通じて理論・知識の修得を、またプロジェクトやSD実践・演習を通じて技能、態度を身につけることを目指しています。さらに、プロジェクト実践の内容・成果を修了レポートにまとめるための文章力を養うことも併せて目指しています。

受講の対象は、所属機関の学長等から推薦を受けた少数精鋭の職員です。原則、SPOD加盟校の職員としていますが、定員に達していない場合はSPOD加盟校外の職員も受け入れます。

次世代リーダー養成ゼミナールプログラム概要

(1回の日程は2～3日間、開催地は四国の各県)

	1 年目				2 年目			
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
講 義	【基礎科目】 研究方法論Ⅰ（課題発見と解決） 研究方法論Ⅱ（文献検索・調査法） 研究方法論Ⅲ（調査票の作成） 研究方法論Ⅳ（データ分析基礎） 研究方法論Ⅴ（レポートの書き方） 【高等教育分野】 高等教育政策論 高等教育史 高等教育論 教育関係法規 学生支援論 【経営戦略分野】 経営管理・戦略論 大学のガバナンスとマネジメント 高等教育における I R 危機管理実践 【人材育成分野】 S D 論 リーダーシップ論Ⅰ リーダーシップ論Ⅱ 大学職員論 メンター入門 人材育成ビジョン 毎回、次回ゼミナールまでの課題が 設定されます							
プロジェクト	プロジェクトの企画 プロジェクトを実施 プロジェクトの報告 ・プロジェクト遂行に必要な理論を習得 ・プロジェクトテーマの検討・決定 ・進捗状況をプレゼンテーション ・報告書をまとめるために必要な理論を修得 ・プロジェクトのプロセスや成果を レポートとしてまとめる ゼミ指導							
SD実践・演習	プログラム構築 講師実践 最終 プレゼンテーション メンタリング実践 プレゼンテーションスキル修得 等 口頭試問							

ゼミナールの様子

様々な講義やワークを通じて、高等教育機関の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけていきます。



開講式（理事・副学長挨拶）



講義の様子



グループワークの様子



メンタリング



プレゼンテーション



ゼミ指導



修了証書の授与